

「健康」を守るために、公立保育所建替えに反対

昨年4月以降、町立保育所「きやま保育園」の建替えが議論され、公立・民間に分園される「基山町保育所整備基本構想」がまとめられました。それに伴い、民間保育所は「社会福祉法人新芽会」が旧図書館用地に建設して平成31年4月から運営、公立保育所は役場西側用地に建設して平成32年4月から運営方針で、平成30年度予算は編成されています。

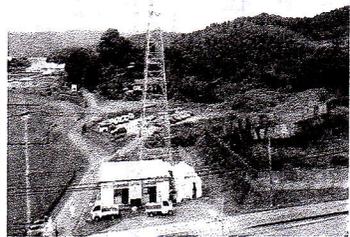
反対の理由

高圧送電線の電磁波は本当に問題ないのか？

※町長や子ども課長は何度も、再測定でも1マイクロテスラ以下だから問題ない数値、と発言されている。

※しかし、様々な文献やインターネット上では0.3や0.4マイクロテスラでも大きなリスク上昇を示す内容が多い。

※0歳児から5歳児までの乳児や幼児を預かる保育所は少しでもリスクを減らす場所に建設するのが当たり前であり、行政の責任ではないのか。



役場西側用地の公立保育所建設予定地
手前に、高圧送電線が横切っている

※もし、役場西側用地に建設すれば、そこに

保育所が続く限り、毎年保護者の方から「電

磁波被害は心配しなくていいのですか？」

と聞かれ、担当課長は「1マイクロテスラ以下だから大丈夫ですよ」と説明会を開催しなければならなくなる。

※電磁波過敏症や電磁波アレルギー症の問題に答えることも難しい。

※説明に納得してもらえない保護者にどのように対応するつもりか？

※民間・公立保育所への入所振り分けをどうするつもりか？

※子育てしやすい町を目指す基山町のマイナスタメージをどう考えているのか？

※私は、例え旧図書館用地に民間保育所が建設されても、現きやま保育園用地に公立保育所を建設し、民間・公立保育所が連携して全国的にも例がない「公・民連携保育所」を目指すことを提案し、反対討論を行った。

編集後記

今年は何年になく、桜が早く咲いた。

異常気象の影響なのか？桜が咲く要因として寒暖の差が挙げられるが、確かに2月・3月は寒暖の差が激しかった。

桜が散ってしまうのでは、と心配していたが、無事に第7回7区桜祭りが賑やかに開催された。

だご汁、焼き鳥、焼きそば、梅ヶ枝餅、綿菓子等と地域住民が手作りしておもてなしをおこなう。

舞台では、踊りやカラオケ、創作劇もあり、賑わった。

地域の活力は創意工夫すれば、まだまだ伸びると実感する。

